

ぶどうの木



発行人 牧師 広田叔弘
企画編集 広報委員会
www.church.ne.jp/umegaoka/
2021年 9月26日発行

〒155-0033
東京都世田谷区代田 3-37-7
TEL : 03-3414-5772
FAX : 03-3414-5778

第220号 2021年 10月号



『わたしは宣教する』

牧師 広田叔弘

イエスは言われた。「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、わたしは宣教する。そのためにわたしは出て来たのである。」

マルコによる福音書 1章 28節

九月三〇日(木)をもって、四回目の緊急事態宣言が解除される予定です。発出されたのは七月一二日(月)でした。この間教会は一回の主日礼拝をそれぞれのところでささげることになりました。我慢の時でした。九月二日現在、国内の二回目ワクチン接種率は五・一パーセント。東京都は五四・六パーセントです。一月中には、希望者全員が二回目の接種を受けられる見通しと言うことです。感染症はまだ収束していません。同時に状況は変化しています。役員会はこれを踏まえて、次に記す二つを行うことにしました。

① 礼拝のライブ配信を行う

十月三日(日)より、Zoomを用いて主日礼拝を生配信します。対象は、教会員と希望する求道者の方々です。この計画は、今後緊急事態宣言が発出された場合や、様々な事情によって教会へ来難くなっている方がいることを考えて行うものです。したがってこれからは、原則的に礼拝堂でささげる主日礼拝を中止することはありません。

② 緊急事態宣言が発出された場合の礼拝

次のように人数を制限して行います。教会員を世田谷区に在住している人と、世田谷区以外に在住している人の二つのグループに分けます(だいたい同じ数になります)。各グループは、交互に(隔週で)礼拝に出席します。感染症は身体に関わることです。これからどうなるのか、まだ分かりません。不測の事態が生じた場合は適宜対応していきます。

共に集まれなくなつて、二か月半余りが過ぎています。この間、教会への問い合わせがあり、道を求めて尋ねて来る人がいました。礼拝の席を示すことができないのは辛いことでした。神学の世界に「ミシオ・デイ」と言う言葉があります。「神の宣教」と訳します。伝道の主体は神であり、我々は主の働きに参与するという考え方です。過ぎた日々を振り返って「伝道するのは主、キリストが私たちに先立っている。」このことを実感するのです。感染症に苦しむ日々はあっても、それで神の宣教が滞るわけではありません。「わたしは宣教する。そのためわたしは出て来たのである。」この御言葉の後に弟子たちは従いました。私たちも同じです。感染症との闘いはまだまだ続くでしょう。知恵を集めることが必要です。そして、先立つのは主キリスト。主の働きに参与して福音伝道に仕えていきましょう。